



Subaru

ニュース774

'22.3.13

男声合唱団

# 「フーチン・ロシアのウクライナ軍事侵略・核兵器威嚇は直ちにやめよ！」 昂はうたで抗議！

3月4・13日



スーホ楽団・リュウイさんと「いのちの歌」で音合わせ

□ 2022年3月4日(金) 18:00～20:30 ねむかホールにて、昂定例レッスンが開催されました。奥村さんの体操・千秋さんの発声練習のあと、本並先生の指揮の下、ウクライナ民謡「**キエフの鳥の歌**」で始まりました。テナーパートとバスパートをそれぞれ歌い、2部で合わせていきました。(別掲楽譜：ウクライナ民謡・木内宏治詩「キエフの鳥の歌」)

2月24日フーチン・ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議して、「ロシアはウクライナ侵略をただちにやめよ！核兵器による威嚇は許さない！」の意思を、昂は、うたごえで、「キエフの鳥の歌」を歌うことで表明しました。

休憩をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で、「**U Boji!**」と「**朝露**」を本番をイメージして、特にアカペラの「U Boji!」は、最初の出だしの音をしっかりと、お腹から「U-」、「ウ ボイ」と何度も出して確認しました。暗譜で、音程・リズム・メロディ・言葉をしっかりと歌い合わせるよう、自信を持って歌えるところまで、がんばりましょう！

再度休憩のあと、「スーホの白い馬モンゴル劇団」のリュウイさんが、13回コンサートの音合わせに訪問されました。

「いのちの歌」の合唱とリュウイさんのフルート(横笛)。見事に笛が「いのちの歌」に彩りを添える名曲となりました。

2曲目に、「**歎びのナーダム**」をリュウイさんに聴いてもらい、「**甞了甞了 漂亮漂亮**」の発音、掛け声の音調(原語)のアドバイスを受けました。

本日の参加者は、全参加者：23名、内 団員21名 (T1：8名、T2：4名、BR：6名、BS：3名) ピアノ伴奏は門万沙子さんでした。

**「大阪のうたごえ協議会」総会が3月6日に開催され、「ロシアのウクライナ侵略」に抗議する声明を公表しました。**

## **ロシアはウクライナ侵略をただちにやめよ！核兵器による威嚇は許さない**

ロシアは2月24日ウクライナに武力侵攻を開始し、子どもや女性、何の罪もない多くの市民が殺傷され、砲火の中で逃げまどい恐怖におびえています。ウクライナ国民の姿に胸が締め付けられ、ロシアプーチン政権に対する怒りを禁じえません。

ロシアの行為は、主権尊重、領土の保全、武力行使の禁止を定めた国連憲章を真っ向から踏みにじり、平和の国際秩序を破る無法な侵略にほかなりません。3月2日に開催された国連緊急特別会合は、ロシアに武力行使の停止、ウクライナから即時無条件撤退を求める非難決議を加盟国の7割を超える141か国の賛成で採択しました。「戦争をやめろ」「ロシアはウクライナからただちに撤退を」「ウクライナに平和を」と求めプーチンを糾弾する声と運動が世界中で広がり、ロシア国内でも反戦デモが勇気を持って行われています。

しかもプーチン大統領は軍に「核特別態勢」を命じ、核兵器の先制使用も辞さない言明を行いました。核兵器による威嚇は核戦争の危険を高め人類を破滅に導く行為であり絶対に許すことはできません。

ところが、このウクライナ危機に乗じて、安倍元首相や松井大阪市長などが日本はアメリカと「核を共有」するべきだと発言し、維新の会は「核共有」の提言まで提出しました。唯一の戦争被爆国日本が核武装をするなど断じて許すことができません。また、「憲法9条で国が守れるのか」などと改憲を求める議論は、日本を再び侵略国家にする非常に危険な道につながります。

わたしたちは、平和を願いいのちが大切にされることをうたごえに託して歌い続けてきました。一日も早くウクライナの平和が回復するように、世界の平和を願う人々と連帯し「戦争やめよ」「ロシア軍はただちに撤退を」の声をあげ、行動していきましょう。核戦争につながる核武装に反対し核兵器禁止条約批准を求める署名、9条改憲をゆるさない署名を集め、平和を守る力を大きくしていきましょう。

2022年3月6日

大阪のうたごえ協議会総会



### 「ゆらゆら春」ソロ：奥村さん

□ 2022年3月13日(日)14:00~17:00 ねむかホールにて、昴「特別強化レッスン」が開催されました。

奥村さんの体操・千秋さんの発声練習のあと、本並先生の指揮の下、「春のメドレー」を暗譜で歌いました。

続いて、「白樺」を4番まで通して歌いました。ロシアのウクライナ侵略に対する抗議とともに、ロシア民謡「白樺」を歌うか？

(「白樺は反戦の歌!」、第2次世界大戦の侵略者ナチス・ドイツ軍と闘った当時の祖国防衛のロシア軍の若者のたたかいを「白樺」は、眠らずに見届けていた!) (プーチンやめろ! 「白樺」は眠らずに見ているぞ!) と。

続いて、「方正」のうた(「13回コンサート」第3部「いのちを歌う 愛」の千秋さんの創作曲「方正はいくさを物語る」から、森二三さんのピアノ伴奏で、その語りと共に、「方正の青い空」の独唱と昴の合唱が続きました。

休憩・通風、連絡報告があり、伊藤副指揮者の指揮で、「ゆらゆら春」(独唱：奥村さん)を、各所のチェックをして歌っていきました。

引き続き「U Boj!」をフルコーラスで、暗譜で合唱しました。暗譜ができていることを前提に、言葉の発音、強弱、リズムを合わせることで、楽想を合わせる段階に来ました。

(楽譜訂正：6小節2番：「コーブラータク(誤) プラータ」⇒「コーブラータス(正) プラータ」)

引き続き、本並先生の指揮で、「いのちの歌」と「昴」をレッスンしました。

本日の参加者は、全参加者：29名、内 団員27名 (T1：9名、T2：4名、BR：8名、BS：6名) ピアノ伴奏は森二三さんでした。

### ○連絡・報告事項

#### (1) レッスン日について

13回コンサートまで40日余り、あと8回のレッスン。「定例レッスン」以外に3月27日(日)、4月10日(日)の「特別強化レッスン」、4月21日(木)の「直前レッスン」が予定されています。定例レッスンだけでは足りない状況です。欠席しないでがんばりましょう!

レッスン不足を感じておられる方を対象に、3月13日(日)10:30~12:00「朝レッスン」を行いました。次回は、4月10日(日)の午前中に2回目の朝レッスンを予定しています。しかし、コロナ対策は十分必要です。体調の悪い時や、熱のある時は無理をしないで!

3月18日(金) 18:00~ 定例レッスン

3月20日(日) 14:00~ 定例レッスン(嶋本先生を迎えて)

3月27日(日) 14:00~ 特別強化レッスン

No.774(3/5)

- 4月 1日(金) 18:00 ~ 定例レッスン
- 4月10日(日) 14:00 ~ 特別強化レッスン(嶋本先生を迎えて)  
(希望者は10日(日)10:30~12:00朝レッスン行います。)
- 4月15日(金) 18:00 ~ 定例レッスン
- 4月17日(日) 14:00 ~ 定例レッスン
- 4月21日(木) 18:00 ~ 特別レッスン(リハーサルを兼ねて)
- 4月23日(土) 13回コンサート本番

○今回の演奏会も原則暗譜です。3月13日(日)「特別強化レッスン」から、暗譜で練習します。自習レッスンに励んでください！今回のコンサートも練習不足は否めないものの、演奏は指揮者に集中して、暗譜でがんばりましょう！

しかし、「コロナ禍で、これまでの定例レッスン欠席がちで、どうしても暗譜は無理、しかし舞台に立ちたい団員」は楽譜を持って、指揮者を見て一緒に歌っていただきますように！（要相談）

## (2)「13回コンサート」のチラシ、チケットの配布について(再掲)

チラシ 5,000 枚作製、チケット:団員 50 枚/1 人 コンサート成功のため、友人・知人・ご家族・ご親戚の皆さまにお届けして、チケットを売ってください(届けてください)。

- ・売れた人は、チケット番号と名前を控える。
- ・預けた人は、チケット番号と名前を控え、精算袋を渡す。
- ・チケット(券)を有効活用し、たくさんの人に預ける。掛けし、チケット販売に早く足を踏み出してください。コロナ感染厳しい状況にありますが、声宣伝し、鼻がコンサートを4月23日にするという事を知らせることがまず必要です。来ていただける方々は、いろんな行事や用事の間を縫って、ということになります。早く声をかけてください。 **「うたごえ新聞2022. 3. 21」より 談話**

### 会長談話

ロシアは2月24日、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。いまや全土で攻撃を強めているが、その中には「核施設」も含まれ、あわや大惨事につながる危険性も出てきている。すでに住宅・学校・病院などが無差別に爆撃され、子どもやお年寄りなど大勢の民間人までが殺されている。さらにプーチン大統領は、核兵器の先制使用にまで言及し世界を威嚇

した。

私たちはロシアによる暴挙を断固糾弾するとともにロシア軍の即時撤退、対話と交渉による平和的解決が一日でも早く実現することを強く求めるものである。

## 世界の声をロシアに！ ウクライナに春を！

同時に、安倍元首相や自民党、日本維新の会が、ウクライナ危機に乗じた「核共有・9条改憲論議」など無責任な妄言を吐いていることに抗議し、日本政府

には「核兵器禁止条約」への批准を強く迫りたい。うたごえは創立以来、ロシア民謡やソヴェト歌曲など積極的に紹介・普及し、これまでも全国及び地方レベルにおいて日ロの文化交流を温めてきた。このことは、西国の友好関係を発展させ、連帯と交流の意義ある事業を通じて構築してきた平和の証と言える。私たちがうたごえも世界

の、そしてロシアの良識ある人々と連帯しながら「うたごえは平和の力を合言葉に、全国で戦争反対」の抗議の声を歌や行動で広げていくことが喫緊の課題となっている。「創造と交流を通じて、全世界の今日の世代と明日の世代を幸福へとよび招こう」。このシュスタコビッチのことをうたごえ、世界全体にとっての明日への展望とした。

2022年3月6日  
日本のうたごえ全国協議会会長 田中嘉治

## 随想 うたごえ時間

「戦争の」とロシアのプーチン大統領のウクライナ侵攻に世界中で抗議の声が上がっている。プーチンは「言いなりになるなら作戦を止めると」極端不遜な暴言。キエフ在住の記者は「自宅は東部の隣りにアパート、侵襲開始3月2月26日、銃撃戦の音が聞こえ、地下室に。28日、ケット弾着弾。3月3日、停電、暗闇の中、キエフ

## 美しい町、キエフが泣いている

渡辺享則

1984年6月、北海道合唱団第7回訪ソ公演に同行した。重厚なモスクワの街、白いボラの綿毛が舞う。フッフェンワルドの響く演奏が始まる。立ち上がって頭を垂れる観客、農村風景

たドニエプル河、高台のウクライナは、白鳥の悲鳴を見学した後、歓迎しい歌もなにとやうと暮らしていくのだろうか。中島章利氏訳詞、ウクライナ民謡はロシアの指揮者・木内宏治氏ア民謡・歌曲との関連性

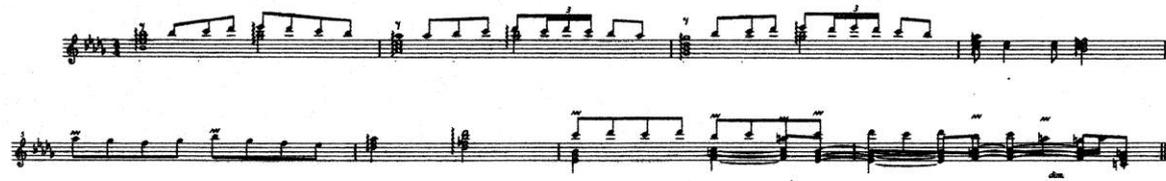
深い。「小さいがみの木もその一曲豊かな文化のウクライナを戦火で悲しませてはいけない。世界平和ビル7人委員会「私たちが、ロシア国内での軍事侵攻反対の人たちを含め、世界各地からの軍事侵攻反対の声を連帯する」と声明を出した。

3月6日、長野駅前でロシア侵襲に反対するデモ。多くの通行人が好意的な視線を送ってくれた。自己満足とSNS投稿した合唱団員に大いに励まされた。日本のうたごえ全国協議会副会長

# キエフの鳥の歌

2部合唱

ウクライナ民謡・木内宏治詩



9  
は て な り き そ ら の か な た い と し い と り は と ぶ  
よ ぎ り に し ず む も り よ ほ の ぐ ら き た に ま よ

13  
お か に ひ と り た た ず み す ぎ に し 日 を お も う  
う た ご え か わ も を ゆ く わ が お も い を の せ て

17  
こ こ ろ に し み る と り の こ え は く ち ょ う よ つ る よ  
つ る の う た ご え に よ せ て と ど け よ あ い の う た

21  
2回 To Coda  
や さ し き ひ と は い ま い ず こ お し え て お く れ  
や さ し い ひ と は い ま い ず こ お し え て お く れ

25  
Ah Ah

29  
Coda  
や さ し き ひ と は い ま い ず こ お し え て お く れ あ!

混声4部合唱・ピアノ伴奏譜は別途あり

2022. 303. 04

No.774(5/5)